

大学院講義のご案内

「国内の破傷風菌ゲノミクスにより明らかになった
毒素高産生株系統の存在」

総合感染症学(連携大学院) 客員教授

国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター長

黒田 誠 先生

“Comparative Pathogenomic Analysis Reveals
a Highly Tetanus Toxin-Producing Clade
of *Clostridium tetani* Isolates in Japan”

Professor Makoto KURODA

Pathogen Genomics Center,
National Institute of Infectious Disease (NIID)
(Cooperation Institute)

日時: 令和6年1月23日(火) 17:30~19:00

場所: マスカットキューブ3階・講義室

対象: 大学院生, 教員, 研修医, 医員等

この講義は博士課程授業科目の「研究方法論(基礎・応用)の授業に出席したとみなされる講演会」としてカウントすることが可能です。出席記録簿を持参して、開催担当教授の「押印」を受けて下さい。職員, 大学院生, 学生, 興味のある方はどなたでもご参加下さい。

連絡先: 学術研究院医歯薬学域
口腔微生物学分野
大原 直也(内線6655)

